

# 生活

✉ seikatsu@asahi.com

2012年(平成24年)

## 12月9日

日曜日



天気 6 9 12 15 18 21(時)

福岡	☁	☁	☁	☁	☁	☁	7
北九州	☁	☁	☁	☁	☁	☁	4
山口	☁	☁	☁	☁	☁	☁	6
大分	☁	☁	☁	☁	☁	☁	3
佐賀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	5
鹿児島	☁	☁	☁	☁	☁	☁	0
那覇	☁	☁	☁	☁	☁	☁	7
大阪	☁	☁	☁	☁	☁	☁	2
東京	☁	☁	☁	☁	☁	☁	2

朝日新聞西部本社 発行所:〒803-8586 北九州市小倉北区室町1-1-1  
電話:093-563-1131 www.asahi.com  
福岡本部 〒812-8511 福岡市博多区博多駅前2-1-1 電話:092-411-1131

## 患者を生きたる

2059

### 免疫と病気

「天疱瘡」は、皮膚や粘膜に水ぶくれやただれができる病気。医療費の公費補助がある難病で、約45000人が認定されている。40〜60歳代で発症し、女性が多い傾向がある。

免疫に異常が起き、自分の表皮を攻撃する「抗体」ができるのが原因。細胞をつなぐ腕が切れるため表皮にすき間ができ、液体がたまって水ぶくれになる。少しの摩擦でも破れ、体液が流れ出る。感染症にもかかりやすくなる。

重いやけどと同じような状態

なので、数十年前までは患者の8割以上が亡くなった。しかし今は、ステロイドなど免疫を抑える薬を使って、新たな水ぶくれができない「寛解」状態を目指すようになった。

治療の進歩には、抗体がどの成分を攻撃するのかという仕組みが解明され、血液中の抗体の量を精密に調べる新しい検査法が開発されたことが大きい。

天疱瘡には、患者の6割を占める「尋常性」や、口のただれがない「落葉状」など多くの型があり、抗体の種類が異なる。

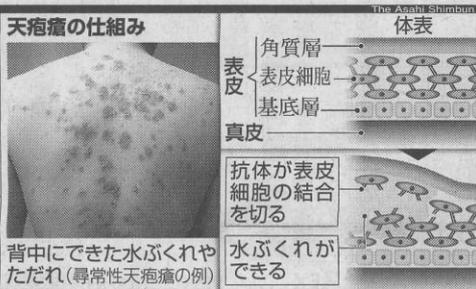
## 多くは口内炎から始まる

### 天疱瘡 情報編

組織検査や抗体検査から、病気の型や症状の重さを把握すれば、のむステロイドの量などの治療方針を立てやすい。

研究の中心になった慶応大医学部の天谷雅行教授(皮膚科学)は「この検査で、症状が安定しているかどうかを客観的にわかるようになった」と話す。

「尋常性」の症状は、口やのどの粘膜から始まることが多い。だが、ふつうの口内炎やウイルス感染などと症状が似ているため発見が遅れ、不適切な治療を長く受ける患者もいる。



久留米大医学部皮膚科の橋本隆教授は「歯科や耳鼻科の先生

にも知識を持ってもらい、なるべく早く皮膚科に相談してもらうことが必要だ」という。

悲願だった患者会「天疱瘡・類天疱瘡友の会」(<http://hp.kanshin-hiroba.jp/tenpou-ritempousou/pc/>)が昨春発足。同大の皮膚科教室に事務局を置き、医師や歯科医師への啓発事業を進めている。

会の名称に入っている「類天疱瘡」は、天疱瘡とは違う抗体が表皮と真皮との間を壊す、別の免疫の病気。公費補助の対象ではなく、友の会は研究推進や患者支援の充実を働きかけている。

(齋藤義浩)

■ご意見・体験は、メールliryo-k@asahi.comへ。

医療サイト・アピタルで、3カ月分のバックナンバーが見られます。

アピタル

検索